

令和 6 年仕事納め式あいさつ

今年は、本町では、大きな災害はありませんでしたが、元旦の能登半島地震、8月の宮崎、日向灘を震源とする地震、そして、記録的な大雨による土砂災害などで多くの人が犠牲になり、大きな被害が発生しました。物価高騰も継続し、町民の生活にも大きな影響がありました。今年も不安定で予測できない 1 年だったと思います。ただ、鳥取県初の総理大臣が誕生し、地方創生をこの鳥取、北栄町から進めて行く、そういう機運も盛り上がっているところです。

そのような中、皆さんにはそれぞれの業務に邁進していただき、住民の相談などに親身になって、対応していただきました。皆さんのおかげで、令和 6 年の北栄町は概ね順調に進んでいったと思っています。

令和 6 年度事業を「変化を豊かさに」という方針のもと、事業を展開しているところです。来年 4 月にリニューアルオープンを目指している道の駅ほうじょうや新たに他自治体や民間など外部と連携しながら、効率的に事業を展開していくなど、これから変化していく北栄町のきっかけとなる 1 年であったと思います。

しかしながら、無くなってしまった病院、お店など、これまで受けていたサービスが提供できていないなど、解決にいたっていない問題もあります。引き続き、粘り強

く対応していく必要があります。

不適切な事務処理もありました。今一度、基本的なこと、ハウ・レン・ソウ、報告・連絡・相談を徹底していただきたいと思います。

多くの職員は、明日から 9 日間の年末年始と土日の休暇となりますが、この期間中も勤務に当たられる職員もいます。お世話になりますが、よろしくお願いします。また、時節柄、お酒を飲む機会も増えると思いますが、節度ある行動をお願いします。

来年は、巳年です。新しい挑戦や変化に対して、前向きな姿勢を示す年ともいわれています。どうぞ、一皮むけ、変化し、成長する一年であってほしいと思います。

皆さんが令和 7 年の新春を健やかに迎え、新しい年が笑顔で満ちた年となりますよう、そして、1 月 6 日には、皆さんが元気で出勤していただきますよう祈念し、令和 6 年の仕事納め式のあいさつとします。

令和 6 年 12 月 27 日

北栄町長 手嶋俊樹